

平成20年度 京都大学総合技術研究会 出張報告



基礎教室

須賀一民

報告内容index

- 京都大学について
 - 京都大学の概要
 - 京都大学のキャンパス
 - 京都大学総合技術部
 - 京都大学の研究・教育・医療の特徴
- 総合技術研究会について
 - スケジュール
 - 研究会の趣旨
 - 研究会の概要
 - 本大学からの発表
 - 他大学の発表
 - 発表の様子
 - 総括

京都大学の概要

▶ 構成員数

▶ 教職員 約5700名

常勤職員 約3800名

(慶應：教職員 5500名 ※常勤者、有期契約を含む)

▶ 学生 約23000名 (学部生 約13000名
大学院・研究生 約10000名)

(慶應：学部生 約38000名 大学院 約4800名)

▶ 年間予算 約1000億円

▶ 他 科学研究費補助金 125億円

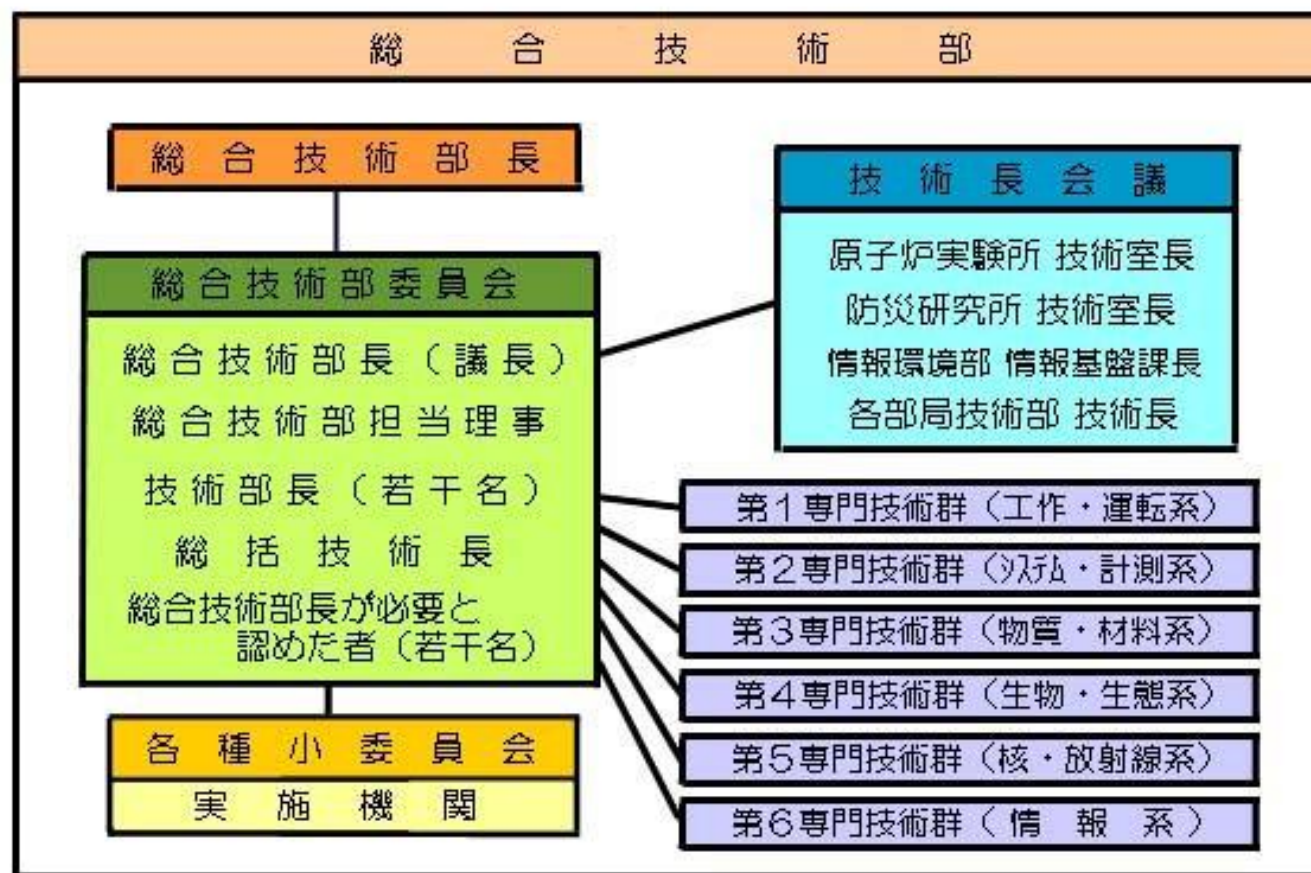
▶ 外部資金受け入れ 183億円

非

京都大学のキャンパス



京都大学総合技術部



京都大学の研究・教育・医療の特徴

- ◆ 自由な学風、部局自治
 - 構成員がわがまま、大学の動きに無関心
- ◆ トップダウンが難しい
 - 労働安全衛生法などの法順守はトップダウンでないとできない
- ◆ 各部局、事務組織が縦割り
 - 情報が全員に届かない、仕事の押し付け合い

(談: 大寫幸一郎 総合技術部長)

京都大学の環境安全衛生

- ▶ 京都大学環境安全保健機構
- ▶ 安衛法→工場など定型作業→大学に合った管理の必要
- ▶ 京都大学環境報告書



スケジュール

◆開催日時

3月9日（月）

午前／開会式、特別講演

午後／分科会、情報交換会

3月10日（火）

午前／分科会

午後／ポスターセッション、分科会、見学

研究会の趣旨

本研究会は大学、高等専門学校および大学共同利用機関の技術者が、日常業務で携わっている広範囲な技術的教育研究支援活動について発表する研究会である。発表内容も通常の学会とは異なり、日常業務から生まれた創意工夫や失敗談も重視し、技術者の交流と技術向上を図ることを目的にしている。

研究会の概要

- ▶ 機械・ガラス工作技術分野
- ▶ 装置関係技術分野
- ▶ 回路・計測・制御技術分野
- ▶ 極低温技術分野
- ▶ 情報・ネットワーク技術分野
- ▶ 生態・農林水産技術分野
- ▶ 医学・実験動物技術分野
- ▶ 分析・物性測定技術分野
- ▶ 実験・実習技術、地域貢献分野
- ▶ 建築・土木技術分野
- ▶ 環境・安全衛生管理技術分野

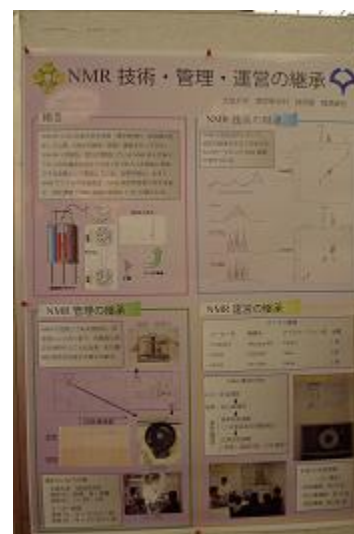
本大学からの発表

- 演習授業「自律走行車の製作」の紹介
佐藤健司
慶應義塾大学実験教育支援センター
- 学生実験「機械工学想像演習」の紹介
高野朋幸
慶應義塾大学実験教育支援センター

他大学の発表

- 技術職員による学生実験へのアプローチ（熊本大学工学部技術部応用分析技術系）
- 電気・情報系学生に対するイメージトレーニングによる実践的創造性向上の研究（豊田工業高等専門学校技術部）
- 学生実験自由テーマとしてのFPGA実習とその効果（東北大学工学部）
- 3次元CADに基づく定型設計支援（東京大学工学系研究科精密機器工学専攻技術部）
- 学生実験用半導体デバイス測定装置の製作（東北大学工学部・工学研究科）
- フーコー振り子（コリオリの力）（京都大学人間・環境学研究科）
- ハイブリッド補聴器の実用化に向けたリアルタイムシステムの開発（熊本大学工学部技術部電気情報技術系）
- USB接続NMR用高速高分解能データロガーの開発（分子科学研究所装置開発室・北海道大学大学院理学研究院亮氏理学専攻）
- 人工地震による地下構造調査について（京都大学防災研究所）

etc...



総括

各大学の様々な分野の学生実験や学生に対するアプローチを縦覧したところ、学生の自主性を伸ばし的確な教育的効果を得るために各技術職員が様々な施策を施していることが発表されていた。その中から実験・実習教育の支援として重要と思われることを総括すると以下の通りである。

- ・教育目的の明確化
- ・学生の理解度の見極め
- ・教員・TAとの円滑な連携
- ・同・他大学の技術職員との情報共有

今後により良い支援体制を目指すとともに、技術的な向上を含め研鑽していきたいと考えている。

次回開催地は…



平成21年度 機器・分析技術研究会 実験・実習技術研究会 in 琉球

・主催

国立大学法人 琉球大学

・日時

2010年3月4日(木)10時から 3月5日(金)17時まで

・会場

国立大学法人 琉球大学